

# 国領小だより

校長 武田 美穂子 〒182-0022 東京都調布市国領町 8-1-55

TEL 042(488)0551 FAX 042(499)4188 ◇ホームページ <https://www.chofu-schools.jp/kokuryou-sho/>

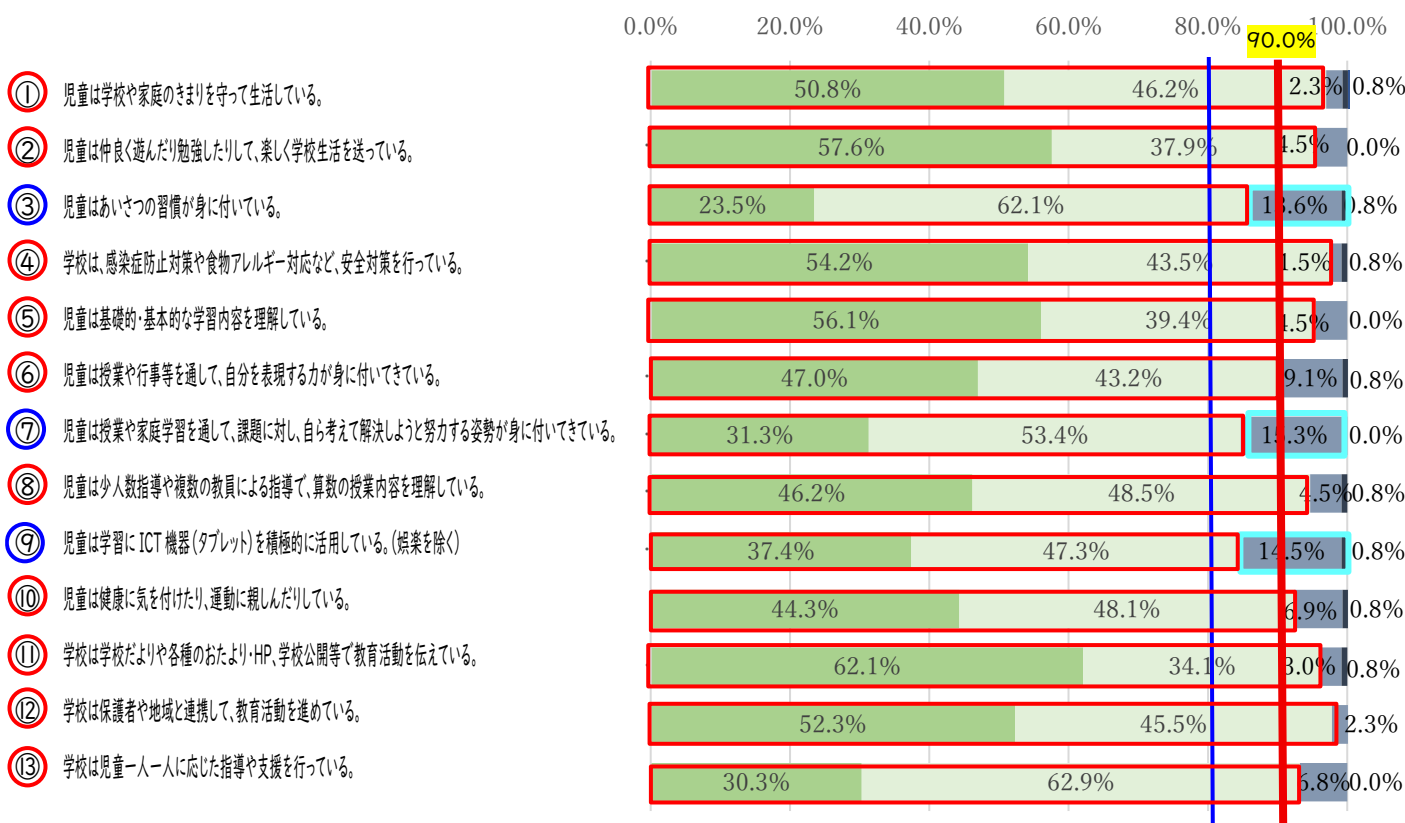
## 令和7年度 保護者アンケート(学校評価)の結果について

校長 武田 美穂子

昨年12月に実施しました「学校評価保護者アンケート」では、ご協力いただいた皆様から、本校の教育活動に関する貴重なご意見や励ましのお言葉をお寄せいただき、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

1月29日の第4回学校運営協議会におきましても、今回の学校評価の結果を踏まえ、次年度に向けた本校の成果と課題及び改善点についてご報告をさせていただきました。教職員一同、これらの結果を真摯に受け止め、今後の教育活動に生かせるように、令和8年度教育課程の編成に取り組んでまいります。引き続き、本校の教育にご理解・ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。以下、結果をまとめた「1 集計結果グラフ」「2 集計結果表」(学校教育目標との関連、令和6年度との比較)「3 成果と課題及び改善策」をお示しましたので、ご覧ください。

### 1 集計結果グラフ(結果の概要) 国領小学校 保護者(回答 48% 132/270)



■ そう思う ■ ややそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

○ ①から③の質問項目 全てにおいて、80%以上の肯定的な評価をいただきました。

○ ①②④⑤⑥⑧⑩⑪⑫⑬の質問項目において、90%以上の肯定的な評価をいただきました。

● ③⑦⑨の3つの質問項目において、肯定的な割合が90%未満の結果となりました。

～学校ホームページをほぼ毎日更新しています。ぜひご覧ください

## 2 集計結果表(肯定的な割合 令和6年度との比較)

<A そう思う B どちらかといえば、そう思う C どちらかといえば、そう思わない D そう思わない>

質問項目	A	B	C	D	肯定的な割合 令和6年度	肯定的な割合 令和7年度	前年 比較
① 児童は学校や家庭のきまりを守って生活している。(※今年度、「学校や家庭」という文言を追加しました。)	67	61	3	1	96.9%	97.0%	+0.1 ➡
② 児童は仲良く遊んだり勉強したりして、楽しく学校生活を送っている。	76	50	6	0	94.1%	95.5%	+1.4 ➡
③ 児童はあいさつの習慣が身に付いている。	31	82	18	1	88.6%	85.6%	-3 ⬇
④ 学校は、感染症防止対策や食物アレルギー対応など、安全対策を行っている。	71	57	2	1	97.8%	97.7%	-0.1 ➡
⑤ 児童は基礎的・基本的な学習内容を理解している。	74	52	6	0	93.6%	95.5%	+1.9 ➡
⑥ 児童は授業や行事等を通して、自分を表現する力が身に付いてきている。	62	57	12	1	92.3%	90.2%	-2.1 ⬇
⑦ 児童は授業や家庭学習を通して、課題に対し、自ら考えて解決しようと努力する姿勢が身に付いてきている。 (※昨年度、「勉強に向かう姿勢」から「課題に対し、自ら考えて解決しようと努力する姿勢」と文言を変更しました)	41	70	20	0	81.8%	84.7%	+2.9 ⬆
⑧ 児童は少人数指導や複数の教員による指導で、算数の授業内容を理解している。	61	64	6	1	93.6%	94.7%	+1.1 ➡
⑨ 児童は学習にICT機器(タブレット)を積極的に活用している。(娯楽を除く) (※昨年度、「学習に」「(娯楽を除く)」の文言を追加しました。)	49	62	19	1	85%	84.7%	-0.3 ➡
⑩ 児童は健康に気を付けたり、運動に親しんだりしている。	58	63	9	1	87.2%	92.4%	+5.2 ⬆
⑪ 学校は学校だよりや各種のおたより・HP、学校公開等で教育活動を伝えている。	82	45	4	1	100%	96.2%	-3.8 ⬇
⑫ 学校は保護者や地域と連携して、教育活動を進めている。	69	60	3	0	96.4%	97.8%	+1.4 ➡
⑬ 学校は児童一人一人に応じた指導や支援を行っている。	40	83	9	0	90.9%	93.2%	+2.3 ➡

○①②⑤⑦⑧⑩⑫⑬の8つの質問項目において、令和6年度よりも肯定的な評価が上がりました。(0.1%~5.2%程度)

●③④⑥⑨⑪の5つの質問項目において、令和6年度よりも肯定的な評価が下がりました。(0.1%~3.8%程度)

①から⑬の質問項目の結果と、いただきましたご意見・ご感想を踏まえて、以下3に、成果と課題及び改善策をお示しました。紙面の都合上、すべての意見を掲載することができませんので、あらかじめご了承のほど、お願い申し上げます。また、いただきましたご意見・ご感想については、校内教職員で情報を共有し、次年度に向けた計画立案及び、改善に役立ててまいります。引き続き、子どもたちを真ん中におき、一人一人を大切にされた指導・支援に努めるとともに、保護者・地域関係者の皆様と協力・連携して、教育活動を進めてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

※ 今年度、教室(3年1組、2組)の床張り替え工事、職員室前トイレの扉設置工事、各教室の照明LED設置工事等を行いました。さらに、2月中旬より、理科室・家庭科室の床張り替え工事を行う予定です。引き続き、学校施設面につきましては、事務主事や市教委と連携を図り、改善・修繕に向けた努力を重ねてまいります。

※ 校帽の購入については、保護者の皆様へのアンケート結果を踏まえ、行わないこととしました。ご協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

~学校ホームページをほぼ毎日更新しています。ぜひご覧ください

### 3 成果と課題及び改善策

#### (1) 「仲良くする子」【人間関係形成能力の育成】に関連した質問項目について

左記：グラフ及び保護者意見 右記：考察及び改善策（方針）

<p><b>② 児童は仲良く遊んだり勉強したりして、楽しく学校生活を送っている。</b></p>										
<table border="1"> <tr><td>保護者</td><td>57.6%</td><td>37.9%</td></tr> <tr><td>教員</td><td>38.5%</td><td>61.5%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>59.8%</td><td>31.6%</td></tr> </table> <p>・いつもお世話になっております。先生方には感謝しかありません。毎日楽しく登校できるのも先生方のおかげです。いつもありがとうございます。</p>	保護者	57.6%	37.9%	教員	38.5%	61.5%	児童	59.8%	31.6%	<p>○ 保護者95.5%、教員100%、児童91.4%と、いずれも9割を超える高い評価となりました。 → 温かいお言葉をいただきありがとうございます。今後も児童の自主的な学級活動や異学年交流、日常的な遊びの場を大切にしながら、一人一人が安心して過ごせる学校づくりを進め、より充実した学校生活につなげてまいります。 → 自己決定・自己選択の場を意図的に設定し、体験的な活動を充実させることで、児童一人一人の居場所づくり・絆づくりに努めてまいります。</p>
保護者	57.6%	37.9%								
教員	38.5%	61.5%								
児童	59.8%	31.6%								
<p><b>③ 児童はあいさつの習慣が身に付いている。</b></p>										
<table border="1"> <tr><td>保護者</td><td>23.5%</td><td>62.1%</td></tr> <tr><td>教員</td><td>0.0%</td><td>84.6%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>45.7%</td><td>44.4%</td></tr> </table> <p>→ 今後も、代表委員会の児童を中心とした取組を継続するとともに、友達同士や地域の方など、より自然な場面で挨拶が広がるよう、児童の主体性を生かした指導・支援に努めてまいります。</p>	保護者	23.5%	62.1%	教員	0.0%	84.6%	児童	45.7%	44.4%	<p>○ 児童90.1%と、9割を超える評価となり、児童自身は日常生活の中であいさつを意識している様子がうかがえます。▲一方、保護者85.6%、教員84.6%と8割台にとどまっており、場面や相手によってあいさつの実践に差が見られることが課題として考えられます。</p>
保護者	23.5%	62.1%								
教員	0.0%	84.6%								
児童	45.7%	44.4%								

#### (2) 「元気な子」【自己指導能力の育成】に関連した質問項目について

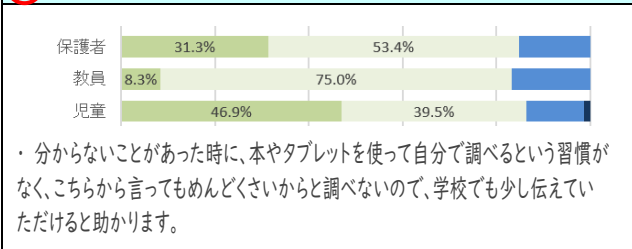
<p><b>① 児童は学校や家庭のきまりを守って生活している。</b></p>										
<table border="1"> <tr><td>保護者</td><td>50.8%</td><td>46.2%</td></tr> <tr><td>教員</td><td>7.7%</td><td>92.3%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>38.9%</td><td>55.7%</td></tr> </table>	保護者	50.8%	46.2%	教員	7.7%	92.3%	児童	38.9%	55.7%	<p>○ 保護者97%、教員100%、児童94.6%と、高い評価となりました。 → 本校では、「国領小スタイル」をもとに、一貫した学習指導・生活指導の実施に努めています。年度当初に「国領小スタイル」について学校と家庭で共通理解を図るとともに、保護者との連携・協力を一層高め、子どもたちが望ましい生活習慣を身に付けられるように、指導・支援に努めてまいります。ご協力のほどよろしく願っています。</p>
保護者	50.8%	46.2%								
教員	7.7%	92.3%								
児童	38.9%	55.7%								
<p><b>④ 学校は、感染症防止対策や食物アレルギー対応など、安全対策を行っている。</b></p>										
<table border="1"> <tr><td>保護者</td><td>54.2%</td><td>43.5%</td></tr> <tr><td>教員</td><td>69.2%</td><td>30.8%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>63.5%</td><td>27.9%</td></tr> </table> <p>・毎年全校マラソンの翌週にインフルエンザが流行し学級閉鎖が発生するので、体力作りと感染予防の難しさを感じています。</p>	保護者	54.2%	43.5%	教員	69.2%	30.8%	児童	63.5%	27.9%	<p>○ 保護者97.7%、教員100%、児童91.4%と、高い評価となりました。 → 今後も、基本的な感染症対策（手洗い・うがい・換気等）を継続するとともに、アレルギー対応の確実な実施や、教職員間の情報共有を徹底し、児童が安心して学校生活を送ることができる教育環境の実現に努めてまいります。 ※ 食物アレルギー対応訓練の実施（年間2回）※ 給食配膳時のマスク着用</p>
保護者	54.2%	43.5%								
教員	69.2%	30.8%								
児童	63.5%	27.9%								
<p><b>⑩ 児童は健康に気を付けたり、運動に親しんだりしている。</b></p>										
<table border="1"> <tr><td>保護者</td><td>44.3%</td><td>48.1%</td></tr> <tr><td>教員</td><td>23.1%</td><td>46.2%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>59.3%</td><td>29.6%</td></tr> </table> <p>→ 今後も、専門指導員による出前授業の実施を計画していきます。（興味関心を高める）→ 体育科の授業と保健の学習との関連を一層図って指導していきます。 → 調布市の方針を受け、（なわとび・ダブルダッチ）や、「ちょこプラワン国領」の取組を児童の意見を取り入れながら進めてまいります。 ※ ちょこっと、プラス1分の運動実施の取組</p>	保護者	44.3%	48.1%	教員	23.1%	46.2%	児童	59.3%	29.6%	<p>○ 保護者評価が92.4%と、昨年より5.2%上がり、児童の肯定的評価も88.9%となりました。一方で教員の自己評価は69.3%にとどまり、取組成果の捉え方に差が見られました。学校行事や体力づくりの取組を通して、児童が運動に親しむ機会を設定しているものの、教員は運動への意欲や主体性、日常的な運動習慣の定着といった面で、さらなる課題を感じていることがうかがえます。</p>
保護者	44.3%	48.1%								
教員	23.1%	46.2%								
児童	59.3%	29.6%								

#### (3) 「よく考える子」【問題解決能力】に関連した質問項目について

<p><b>⑤ 児童は基礎的・基本的な学習内容を理解している。</b></p>										
<table border="1"> <tr><td>保護者</td><td>56.1%</td><td>39.4%</td></tr> <tr><td>教員</td><td>16.7%</td><td>75.0%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>62.1%</td><td>32.5%</td></tr> </table> <p>・いろいろな形で子供達に勉強の場を設けていると思います。</p>	保護者	56.1%	39.4%	教員	16.7%	75.0%	児童	62.1%	32.5%	<p>○ 保護者評価95.5%、教員91.7%、児童94.6%と、いずれも高い評価となりました。一方で、学年が上がるにつれて理解の程度に個人差が広がっている状況も見られます。 → 今後も、校内研究での学びを生かし、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善を進めるとともに、教科担任制の実施により、専門性を生かした指導や多面的な見取りを充実させ、一人一人の理解に応じた指導・支援が行えるように努めてまいります。</p>
保護者	56.1%	39.4%								
教員	16.7%	75.0%								
児童	62.1%	32.5%								
<p><b>⑥ 児童は授業や行事等を通して、自分を表現する力が身に付いてきている。</b></p>										
<table border="1"> <tr><td>保護者</td><td>47.0%</td><td>43.2%</td></tr> <tr><td>教員</td><td>7.7%</td><td>84.6%</td></tr> <tr><td>児童</td><td>45.0%</td><td>40.8%</td></tr> </table> <p>・行事に力を入れていて、子供も行事を通して何かを感じたり成し遂げたりした達成感を体験出来ている様子が見られます。特に高学年は、「お手本となってみんなにすごいことが出来るんだね」と子供への良い刺激になっているようです。学校生活が、本人にとって着実に学びの場になっていて1人1人が自信をもてるような教育活動を引き続き、行っていただきたいです。</p>	保護者	47.0%	43.2%	教員	7.7%	84.6%	児童	45.0%	40.8%	<p>○ 保護者評価90.2%、教員92.3%と、高い評価が得られました。一方、児童の評価は、85.8%となり、自身の表現に対する捉え方に課題が見られます。今年度は、学習発表会を実施し、音読や劇、体験活動の発表、合唱・合奏など、様々な形で自分の考えや思いを表現する機会を設けました。 → 今後も引き続き、日常の授業においても、表現の機会を意図的に設け、安心して表現できる雰囲気づくりに努めてまいります。 → 言語活動や体験活動を一層充実させ、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善を通して、自分の考えを伝え合う力の育成に努めてまいります。</p>
保護者	47.0%	43.2%								
教員	7.7%	84.6%								
児童	45.0%	40.8%								

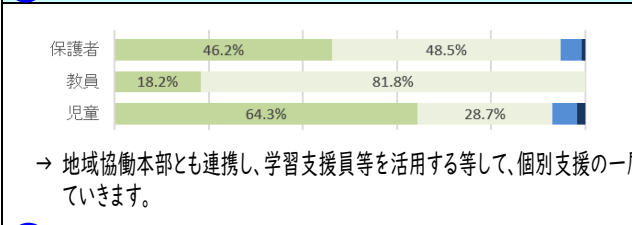
～学校ホームページをほぼ毎日更新しています。ぜひご覧ください

**⑦ 児童は授業や家庭学習を通して、課題に対し、自ら考えて解決しようと努力する姿勢が身に付いてきている。**



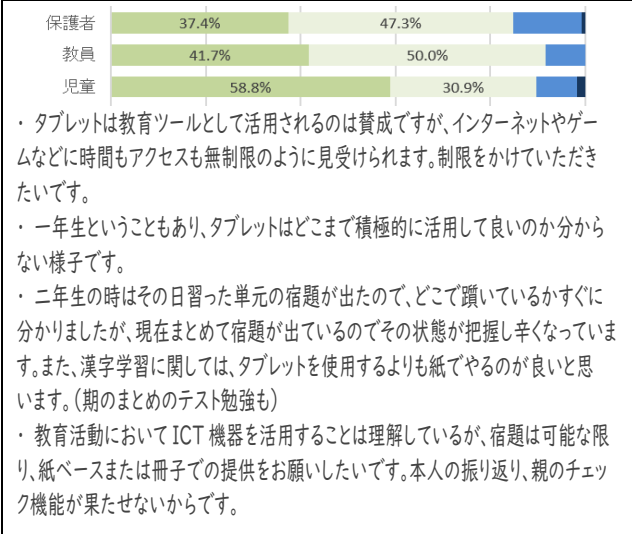
▲ 保護者評価84.7%、教員評価 83.6%、児童評価 86.4%と、三者の評価に大きな差は見られませんでした。学習に前向きに取り組む姿勢は定着しつつあるものの、課題に対して自ら問いを立て、考えを深めながら粘り強く解決しようとする力については、引き続き育成が必要であると考えます。  
→ 授業では、自分の力で考えたり、調べたりする時間を十分に確保し、分からないことに対して粘り強く向き合う学習態度の育成を図っていきます。  
→ 総合的な学習の時間においても、「情報の収集」→「整理・分析」→「まとめ・表現」の探究のプロセスを重視して学習を進めていけるように指導・支援に努めてまいります。

**⑧ 児童は少人数指導や複数の教員による指導で、算数の授業内容を理解している。**



○ 保護者評価 94.7%、教員評価 100%、児童評価93%と、いずれも高い評価となりました。少人数での学習により、児童の理解に応じた指導が可能となり、児童が安心して質問したり、自分の考えを表現したりできる学習環境が整い、学習内容の確かな理解につながっています。校内研究(R6・7算数科)の学びを生かし、個別最適な学びの実現に向けて授業改善を図ってまいります。  
→ 地域協働本部とも連携し、学習支援員等を活用する等して、個別支援の一層の充実を図るとともに、放課後未来塾の活用を一層推進し、補充指導の一層の充実を目指していきます。

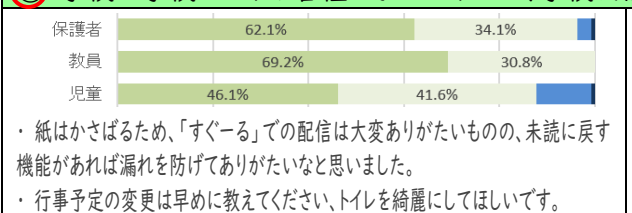
**⑨ 児童は学習にICT 機器(タブレット)を積極的に活用している。(娯楽を除く)**



○ 保護者評価 84.7%、教員評価 91.7%、児童評価 89.7%となり、授業の中での活用が一定程度定着していることがうかがえます。特に、教員や児童の評価が高いことから、調べ学習や意見の共有、振り返りなど、学習の場面に応じた活用が進んでいると捉えています。  
▲ タブレットの教育的な活用についてご理解をいただく一方で、インターネットやゲームへのアクセス、宿題内容の把握のしづらさ、紙媒体での学習の必要性についてのご不安を、重要な課題として受け止めています。  
→ 家庭とも連携を図り、家庭 SNS ルールの周知・徹底を図っていくとともに、セーフティ教室の実施や、年間指導計画に沿った情報モラル教育の実施も進めてまいります。  
→ 学習におけるタブレットの使用場面や時間を明確にするとともに、家庭学習においては、学年の発達段階に応じた内容を精査いたします。  
→ 漢字学習など、繰り返し書くことが効果的な学習については、学習の特性に応じて紙媒体を活用するなど、タブレットと従来の学習方法を適切に使い分けながら、家庭と連携した指導を進めてまいります。

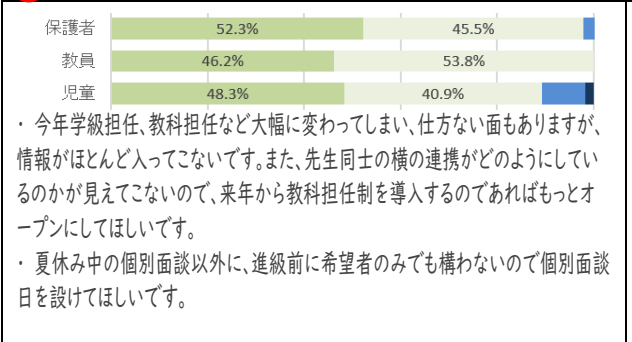
**(4) その他の事項における質問項目について**

**⑩ 学校は学校だよりや各種のおたより・HP、学校公開等で教育活動を伝えている。**



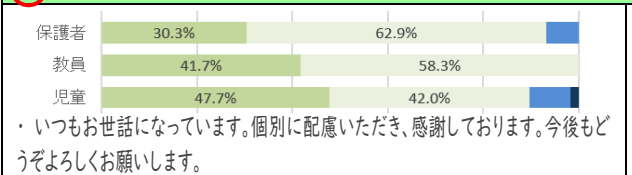
○ 保護者 96.2%、教員 100%と非常に高い評価となり、学校の取組や行事の様子が家庭に分かりやすく伝わっていることがうかがえます。  
→ 令和8年度も、学校ホームページをほぼ毎日更新してまいります。  
→ 「すぐー」配信においては、重要なお知らせが見落とされにくいよう、配信内容や方法について、工夫を重ねてまいります。行事予定の変更等については、できる限り早めにお知らせできるよう、校内での情報共有や連絡体制の改善に努めてまいります。

**⑪ 学校は保護者や地域と連携して、教育活動を進めている。**



○ 保護者 97.8%、教員 100%と非常に高い評価となりました。コミュニティ・スクール2年目となり、地域人材の活用や行事への参画など、教育活動の幅が広がってきています。今後は、こうした取組の意義や地域の方々の思いが、児童自身もより実感できるような関わり方や学習活動の工夫が求められます。引き続き、保護者・地域との連携・協働を大切にしながら、児童が人とのつながりを実感し、学びを深められる教育活動の充実を図ってまいります。  
→ 学級担任変更や教科担任制試行実施に伴い、学校の取組や情報が十分に伝わっていないと感じられた点について、貴重なご意見として受け止めております。今後は、学年や教科を越えた教員間の連携を一層大切にするとともに、学校だよりや説明の機会を通して、分かりやすくお伝えしていきます。また、進級を見据えた児童の成長や課題について共有できるよう、個人面談の機会についても、実施方法や時期、回数について検討してまいります。

**⑫ 学校は児童一人一人に応じた指導や支援を行っている。**



○ 保護者 93.2%、教員 100%と高い評価となりました。引き続き、通級指導学級教員による巡回指導、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、学習支援員の活用により、個に応じた支援体制の充実を図っていきます。  
→ 児童一人一人が、自己決定・自己選択できる機会を意図的、計画的に設定し、自分の考えを表現できるように指導・支援に努めてまいります。